

のん・すもーかー 通信

2011・4・26
発行

発行者

〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目南大通ビル 黒木法律事務所内

非喫煙者を守る会

代表理事 黒木俊郎

TEL 011-251-5863 ・ FAX 011-251-3802

e-mail : GZT02452@nifty.com

web : <http://homepage1.nifty.com/nonsmoker/>

INDEX

- 当会会員の八田氏が道議当選 ……P.2
- 禁煙週間のポスターができました ……P.3
- 2011年WHO世界記念デーのスローガン ……P.3
- 北海道禁煙週間行事のお知らせ …… P.4～ P.5
- コラムー震災とタバコー …… P.5
- たばこ問題トピックス …… P.6
- 寄付者名簿 ……P.7
- 会員からのメッセージ ……P.8

当会会員の八田氏が道議当選

この度の北海道議会議員選挙で、札幌市西区から出馬した当会会員の八田信之さんが見事に当選を果たしました。八田さんは、過去に札幌市議会議員として地下鉄ホームの禁煙化などに尽力され、以後も禁煙運動に熱心に取り組まれている活動家です。当会としても、会員から道会議員を輩出したことは名誉なことであり、今後も応援していきたいと思ひます。

<北海道新聞より>

短期決戦

議員報酬削減を

■札幌市西区

八田信之さん

出馬表明してわずか11日間の短期決戦。札幌市西区(定数3)で初当選した無所属新人の八田信之さん(66)は「落選したと思つた。びっくりです」と、事務所を兼ねた自宅で妻幸子さん(58)と手を取り合い喜んだ。1979年から市議

を4期連続で務め、類似地区のロードヒーティング化や地下鉄ホームの禁煙化など市民生活重視の活動を続けた。「無風の選挙区は改革が進まない」と前回、道議選に初めて出馬したが、落選した。選挙活動を支えたのは数人の友人たち。「政党に縛られない立場で、議員報酬の削減など改革に取り組む」と

抱負を語つた。



妻幸子さん(左)と初当選を喜ぶ八田信之さん=11日午前0時15分

禁煙週間のポスターができました。

平成22年禁煙ポスター懸賞募集で、小・中学生の部の最優秀に輝いた、窪田結衣さん（登別幌別中学校2年）の作品がポスターになりました。このポスターでは、家庭における子供の受動喫煙被害を、無節操に子供の前で両親が吸うタバコの煙に苦しむ女の子の姿でリアルに表現しています。

1枚同封しますので、禁煙週間のPRにお役立て下さるようお願いいたします。

平成23年禁煙ポスター懸賞募集要項も同封しました。締切りが迫っておりますので、お早めにご応募下さい。



2011年度禁煙週間ポスター

2011年WHO世界禁煙デーのスローガン

“The WHO Framework Convention on Tobacco Control”
「世界保健機関たばこ規制枠組条約（FCTC）」

（和訳：日本禁煙学会理事 松崎道幸医師）



**命を守る
三つの対策**

**FCTC
WHOタバコ規制枠組み条約**

この条約はタバコによる惨害から世界を守るための切り札です。タバコは毎年600万人の命を奪っています。この条約はすでに170カ国以上で発効しています。

タバコを規制するととても強力なツールです。
是非とも活用しましょう！

WHOが2011年世界禁煙デーのスローガンを発表しました。日本禁煙学会理事松崎道幸医師のホームページでより詳しく解説されておりますので、興味のある方はぜひご覧ください。

<http://www.nosmoke55.jp/action/110531wntd.html>

北海道禁煙週間行事のお知らせ

2011年の禁煙週間（5月31日～6月6日）の行事が決定しました。

1 禁煙週間実行委員会等主催の行事

北海道禁煙週間実行委員会と財団法人北海道健康づくり財団が主催する恒例行事は以下の通りです。（同封の「平成23年禁煙週間実施要項」をご参照下さい。）

◆ 禁煙パレード

恒例の禁煙パレードを今年も実施しますので、守る会の皆さんは奮ってご参加ください。5月28日（土）大通公園3丁目広場に午後1時15分までに集合してください。禁煙風船、禁煙うちわ、タスキ、幟、プラカード、横断幕などを用意してありますので、皆さんで手分けしてお持ちいただいて、下記の禁煙スローガンを全員でシュプレヒコールしながらパレードします。ルートは例年通り、駅前通りを南下してすすきの交差点を經由し中島公園までです。午後1時30分頃出発し3時頃に解散の予定です。

◆ 禁煙パネル展

今年も守る会が中心となって、札幌地下街オーロラコーナーで5月27日（金）から6月2日（木）（※1）まで、禁煙週間のPRやタバコの害を訴えるパネル展示などを行います。パネル展の展示作業を、5月27日（金）朝8時45分から開始しますので、お手伝いをして下さる方は、オーロラコーナーにお越し下さい。

（※1）同封の「平成23年禁煙週間実施要項」には「5月26日（木）～」と記載されておりますが、「5月27日（金）～」の誤りですのでご注意ください。

2011年禁煙パレードスローガン

（タイプ1）

- ・たばこか健康か～健康を選ぼう
- ・タバコ1本 ガンの元
- ・タバコは毒の缶詰
- ・きっぱり禁煙 すっかり健康
- ・できるはず 今から禁煙 遅くない

（タイプ2）

- ・たばこか健康か～健康を選ぼう
- ・受動喫煙を防ごう
- ・子供をたばこから守ろう
- ・公共の場所は禁煙にしよう
- ・職場は禁煙にしよう
- ・歩行喫煙をやめよう

◆ No-Tobacco展

5月30日（月）～6月1日（水）に道庁ロビーで開催し、禁煙ポスター懸賞入選作品や各種禁煙資料の配布を行います。

2 その他の行事

◆ 北海道禁煙フォーラム

5月28日の禁煙週間パレードの後に、「北海道禁煙フォーラム」が予定されています。詳細は未定ですが、職場の受動喫煙対策などについて講演が行われる予定です。禁煙医師連盟、日本禁煙学会北海道支部、道医師会が主催し、会場は北海道医師会館（札幌市中央区大通西6丁目）、午後3時半開始の予定です。

コラム—震災とタバコ—

この度の東北地方から日本全国を襲った震災で、被害に遭われた皆様やご家族に対し心よりお見舞いと哀悼の意を表します。

今回の震災でタバコのフィルター製造工場が被災し、JTがタバコの出荷を一時停止するなどの影響が出て、全国的に供給不足が続いています。タバコは救援物資には含まれないため、被災地においてはなおさらのようです。避難生活で不自由な思いをされている喫煙者の方々には気の毒な気もしますが、分煙もままならない避難所での受動喫煙被害を耳にすると、やはりこれは「タバコ離れの絶好のチャンス」と言えましょう。

4月4日の朝日新聞に、「禁煙の1年分15万円を寄付」された方の記事が掲載されていました。喫煙歴55年に区切りをつけて禁煙に踏み切った約半月後に起こった震災に対し、支援の方法を模索していたところ、「禁煙によって浮くはずのタバコ代1年分の金額を義援金として寄付することを思いついた」とのこと。「禁煙と社会貢献が出来ることに満足」されているそうです。

健康増進法による喫煙規制、増税によるタバコ価格の高騰、自治体禁煙条例化の波、そして今回の震災によるタバコ供給不足と、タバコ離れにますます拍車がかかる状況になりました。この追い風に乗り、禁煙化の波が一段と進むことを期待します。

タバコ問題トピックス

○全国のタクシーが全て全面禁煙に

和歌山県内のタクシー会社は2011年1月5日から車内での全面禁煙を実施した。同県は国内で唯一全面禁煙を実施していなかった。全面禁煙になるのは県タクシー協会の78社、1743台と県個人タクシー協同組合の66台。

(2011/1/6 J-CASTニュース)

これにより、全国のタクシーが全て禁煙となりました。1988年2月26日に全国初の禁煙タクシーが誕生して以来、多くの活動家の地道なはたらきかけが実を結び、ここ10年の間で急速に禁煙化が進みました。

その努力に敬意を表し、禁煙タクシーの歴史をご紹介します。

(2011年2月「タクシー全面禁煙をめざす会」作成)

日付	主要事項	備考
1987年2月26日	安井幸一氏窓開け事件	喫煙客にタクシー近代化センターへ通報され「接客態度違反(不良)」として指導を受ける。
1988年2月26日	禁煙タクシー誕生	個人タクシー安井幸一氏、第1号認可→「標準運送約款」の改正。
4月1日	禁煙タクシー営業開始	個人タクシー20台、「禁煙車」として霞ヶ関周辺をパレード。
2000年8月1日	禁煙タクシーの自由化	禁煙タクシーの認可制度が廃止されるが増えず。(2000年度全国導入率0.6%)
2003年5月1日	健康増進法施行	受動喫煙防止の対象に「タクシー」も含まれる。
2004年2月～5月	禁煙タクシー訴訟準備	安井氏、2月12日国交省へタクシー禁煙化要望・4月14日総務省行政評価局へ要望。5月31日厚労省へ要望(全国導入率2.0%)
5月	タクシー車内粉塵調査	中田ゆり氏、タクシー車内の粉塵調査→5月31日、世界禁煙デーNHKニュース10で放映。
5月	禁煙タクシー訴訟を支える会	タクシー訴訟の原告を中心に結成。/ (2006年4月27日「タクシー全面禁煙をめざす会」と改称)
7月20日	総務省より回答	国交省→タクシーは乗客が車両を貸し切って運送を行う喫煙利用者に配慮する傾向があると回答。
7月22日	禁煙タクシー訴訟	安井氏、乗務員2名と利用者23名、計26名の原告団長として国を提訴。
8月5日	神奈中ハイヤー訴訟	法人乗務員大富英樹氏厚木簡裁へ提訴→横浜地裁小田原支部へ移送→最高裁まで全て棄却判決
2005年12月20日	禁煙タクシー訴訟実質勝訴	訴えは退けられたが、タクシー利用者の立場からも「全面禁煙化が望ましい」と付言された。
2006年4月1日	大分市タクシー全面禁煙化	法人900台・個人80台市単位で全国初全禁煙化(同年9月大分県個人179台県単位全国初全禁煙化)
4月17日	国交省へ要望	小宮山洋子議員・中田ゆりの両氏に同行願い、全国タクシー禁煙化要望。(2006年度全国導入率7.1%)
5月30日	タクシーセンター訴訟	2007年9月12日地裁・2008年2月14日高裁・同6月25日最高裁、何れも棄却判決。
10月～12月	国交省へ質問主意書	小宮山洋子議員の協力で2度提出→禁煙化は事業者の判断で自由に導入できる制度と回答される。
2007年4月3日	全乗連へ申し入れ	新倉尚文会長へ、法人タクシーの全面禁煙化を、日本禁煙学会作田学理事長と訪問し要望。
5月1日	名古屋交通圏タクシー禁煙化	政令指定都市として全国初のタクシー全面禁煙化(100%)・2007年11月1日愛知県全面禁煙化
6月1日	大分県タクシー全面禁煙化	法人2509台・個人179台県単位全国初全面禁煙化
7月11日	神奈川県タクシー全面禁煙化	法人10,923台個人2,738台タクシー全面禁煙化(99%)。
7月～8月	タクシー事業者団体へ要望	「全乗連」富田昌孝新会長、「全個連」原勇会長へ全国タクシーの全面禁煙化申し入れ。
2008年1月7日	東京のタクシーが禁煙に	1月7日、東京駅八重洲北口で「東京のタクシー禁煙化」スタート。富田会長に感謝状贈呈。
7月21日	未実施の道府県アンケート	未実施の22道府県→客離れやトラブル懸念と会員の同意が得られないと回答。
9月25日	実施済み28都県アンケート	全面禁煙を原因とする減収はゼロ・苦情懸念も杞憂・実施して良かったと回答。
2010年8月～10月	タクシー禁煙化の徹底を要請	「全乗連」「全個連」を訪問。和歌山県・同知事・同タク協・近畿運輸局へ要望書送付。
2011年1月5日	47都道府県全面禁煙化	和歌山県、法人・個人全面禁煙化。全国制覇。第1号から23年目

寄付者名簿

(2010年4月～2011年3月)

今年も多くの方から、沢山のご寄付を戴きました。禁煙週間の分担金や日常活動の資金として活用させて戴きました。感謝の気持ちを込めて、ご報告致します。

	氏 名		金 額	住 所
1	伊藤千秋 様		3,000 円	札幌市
2	松野誠夫 様		3,000 円	〃
3	熊谷豊次 様		10,000 円	〃
4	古沢孝市 様		10,000 円	室蘭市
5	上村 茂 様		3,000 円	浜松市
6	石井清一・紀恵子 様		30,000 円	札幌市
7	小泉忠男 様		10,000 円	伊達市
8	大塚秀勇 様		2,000 円	札幌市
9	高桑幹雄 様		10,000 円	東京都
10	桜井祥代 様		5,000 円	静岡県島田市
11	大谷内信一 様		10,000 円	新潟県長岡市
12	宮川隆子 様		10,000 円	札幌市
13	佐藤丈史 様		3,000 円	〃
14	新國三千代 様		3,000 円	〃
15	小野めぐみ 様		5,000 円	〃
16	ジェリー・ハルボーセン 様		5,000 円	江別市
17	楠 祥光 様		8,420 円	沙流郡日高町
			合計130,420 円	

会員からのメッセージ

静岡県浜松市 上村 茂 様

飲食店の禁煙化をさらに推進したいものです。

静岡県島田市 桜井 祥代 様

脳科学の発達で妊婦の喫煙が胎児の脳を傷付け子供に障害を生むことが解明されている。虐待も無縁ではないはず！こういう情報が広く社会に認識される活動が重要である。

同封書類

2011年禁煙週間ポスター

平成23年禁煙週間実施要綱

平成23年禁煙ポスター懸賞募集要項

禁煙カード類

振替用紙（寄付金用）